

松阪市観光協が英語マップ 外国人にPR 中心街のお店

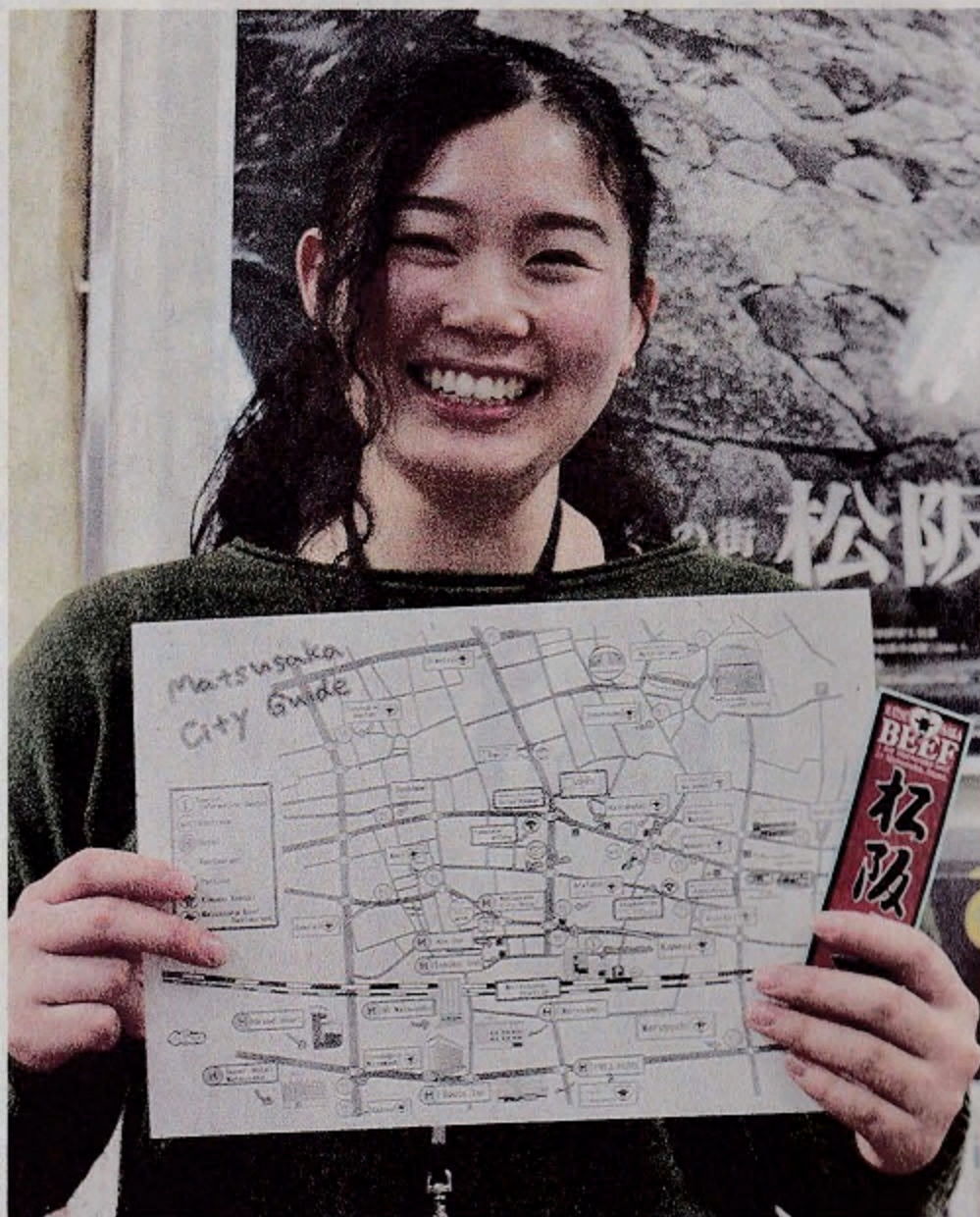
外国人観光客を積極的にもてなそうと、松阪市観光協会が市街地の店舗を英語で紹介したマップ「Matsusaka City Guide」を作った。観光協会のホームページに掲載し、宿泊施設などにはプリントしたマップを配置。飲食店や現金が下ろせる施設など、外国人にニーズの高い情報をイラストでまとめている。

(古檜山祥伍)

観光協会によると、松介。松阪牛のレストランを訪れる個人や少人数は、牛のイラストを添えグループの外国人旅行者で分かりやすくした。外は増加傾向にある。二〇国から問い合わせの多い一七年度は、駅前の観光情報センターに千人を超える人が訪れたという。マップでは松阪駅を中心に、二キロ以内の観光地やトイレ、ホテルを紹介

三月末時点で、紹介店舗は三十三店。今後、店舗を増やし、加筆修正していく。観光協会はマップ作成に合わせ、松阪牛を食べた証しになるステッカーを配布したり、会員制交流サイト(SN S)で松阪牛の情報発信を始めたという。

飲食店などイラストで



外国人向けマップのイラストを担当した三宅さん＝松阪市京町で

イトをしている鈴鹿大国際人間科学部四年の三宅亜紀さん(三〇)が手掛けた。「せっかく外国の人が松阪に来てくれているので、一目で分かるよう、できるだけイラストで伝わるよう心掛けた」と話す。

三宅さんは「三十三店舗分あるので情報量が多かった。他の人の意見を参考にしながら、何度も手直しを加えた」と振り返った。